

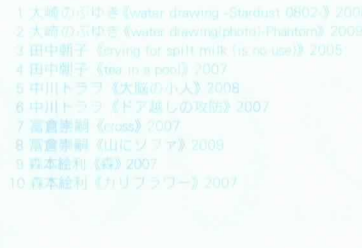
日時：11月8日(日) 15:00～16:00

会場：神戸ビエンナーレ会場内アートカフェ

参加費：無料(要神戸ビエンナーレチケット)

定員：20名

神戸アートビレッジセンター(KAVC)では、10月31日(土)から11月23日(月祝)まで、「Exhibition as media 2009 (メディアとしての展覧会)『drowning room』」を開催します。このたび、本展と同時期にみなと神戸を舞台に開催される総合芸術祭「神戸ビエンナーレ」(10/3-11/23)に出品アーティストが出張！展覧会のプレゼンテーションを含めたアーティストトークを展開します。



1 大崎のぶゆき『water drawing -Standard 0802』2009
2 大崎のぶゆき『water drawing/phantom』2009
3 田中朝子『Crying for spirit milk (is no-use)』2005
4 田中朝子『tree in a pool』2007
5 中川トラヲ『大崎の小人』2008
6 中川トラヲ『トア基しの双児』2007
7 富倉崇嗣『cross』2007
8 富倉崇嗣『山にソファ』2009
9 森本絵利『森』2007
10 森本絵利『カリブラワー』2007

「Exhibition as media (メディアとしての展覧会)」とは？

「Exhibition as media」は、神戸アートビレッジセンターで2007年より開催している、アーティストとアートセンターが企画立案から実施までを共同して行うアートイニシアティブプロジェクトです。タイトルの「drowning room (ドrowningルーム/溺れる部屋)」とは、今回の出品アーティストの共通点として挙げられる、内面へと向かう思考性から浮かび上がった言葉、「drown」(=溺れる、夢中にさせる)とスペルが似た「draw」(=描く)からなる熟語「drawing room」(=応接間)から導かれました。本展ではアーティストの遊び心によって企画構成された応接間が出現します。また、彼らが見せること以上に楽しむことを目的とした作品が展示空間の随所に点在します。その他広報物のアートディレクションや関連企画など、主体的に展覧会創りに参加します。本プロジェクトを通して、アーティストの空想力や眼差しが創る新たな展覧会のカタチを提案できれば幸いです。

展覧会情報

日時：2009年10月31日(土)～11月23日(月祝)

入場無料(12:00～20:00 最終日は17:00まで 火曜日休館)

出品作家：大崎のぶゆき、田中朝子、富倉崇嗣、中川トラヲ、森本 絵利

会場：神戸アートビレッジセンター

[指定管理者：大阪ガスビジネススクリエイト株式会社]

〒652-0811 神戸市兵庫区新開地5-3-14

TEL078-512-5500 <http://kavc.or.jp>

主催：神戸アートビレッジセンター、神戸ビエンナーレ組織委員会

助成：財団法人アサヒビル芸術文化財団

協賛：平和紙業株式会社

協力：ターナー色彩株式会社、日本通運株式会社

都合によりプログラムが変更される場合がありますこと予めご了承下さい。

<http://kavc.or.jp/art/aip>

作家プロフィール

大崎のぶゆき

1975年大阪府生まれ。2000年京都市立芸術大学大学院美術研究科版画修了。KAVC主催「神戸アートアニュアル1998」出品作家。平面作品や写真、映像など多岐に渡るメディアを用いながら自身をとりまく世界を「認識すること」や「リアリティ」の問題を作品として表現している。

田中朝子

1972年大阪府生まれ。2003年京都市立芸術大学大学院博士(後期)過程満期退学。KAVC主催「神戸アートアニュアル1998」出品作家。版画、写真、オブジェなど様々なメディアを用い、日常生活の中に見える些細な錯覚(ズレ)を独自の視点から作品化している。

富倉崇嗣

1979年三重県生まれ。2002年成安造形大学造形学部造形美術科洋画クラス卒業。KAVC主催「神戸アートアニュアル2002」出品作家。記憶が喚起される際に生じるズレや不確かなイメージなど、未完成な記憶の断片をモチーフとした絵画作品を制作している。

中川トラヲ

1974年大阪府生まれ。1997年成安造形大学造形美術科造形表現群洋画コース卒業。KAVC主催「神戸アートアニュアル1997」出品作家。脈絡のないイメージから描き始め、頭の中にある心象風景をシンプルに描写し、具象と抽象の狭間にあるような世界観を表現している。

森本絵利

1978年大阪府生まれ。京都市立芸術大学大学院絵画専攻修了。KAVC主催「神戸アートアニュアル2003」出品作家。「紙をハサミで切る」行為の過程と結果を作品として展示する他、「糸を編む」「ほこりの形を採取する」など合理的な作法に基づいた単純作業の集積を作品化している。

神戸ビエンナーレ会場までのアクセス

JR・阪神「元町」駅下車、南へ徒歩約15分
シティ・ループバス「中突堤(ポルトタワー前)」下車、東へ徒歩約1分
(詳細は神戸ビエンナーレ<http://www.kobe-biennale.jp>をご参照下さい。)

